

# 柏南ロータリークラブ 会報

## 2025-2026 片岡達生年度



よいことのために  
手を取り合おう



**第46代会長 片岡 達生**  
**幹事 井畑 和士 齊藤 洋子**

**第2038回 2026年2月10日 (火)**

### 会長挨拶

皆さん、こんばんは。

本日は夜間例会ということで、お仕事終わりのお疲れの中、多数ご出席いただきありがとうございます。

暦の上では立春を過ぎましたが、まだ寒さが厳しい日が続いております。皆様、体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

さて、本日は、同じ国際ロータリー2790地区、お隣の第14グループの流山ロータリークラブより、ソル・セールズプロモーション株式会社の伊藤賢一様にお越しいただきました。伊藤さん、ようこそ柏南クラブへおいでくださいました。



今日の卓話では、伊藤さんのご本業である「セールスプロモーション」や「IT」の専門分野について自己紹介を兼ねてお話しいただきます。

そして何より、来る2月22日(日)に実施します、はぐくみの杜かしわとの共同プロジェクト「PC寄贈&IT体験会」について、その想いと具体的な内容をお話しいただく予定です。

このプロジェクトは、単にパソコンをプレゼントして終わり、ではありません。伊藤さんのお力をお借りして、子どもたちに「デジタルの楽しさ」や「世界とつながる体験」をプレゼントしようという、非常に夢のある企画です。会員の皆様には、技術的な難しいことはありません。ぜひ当日は子どもたちの笑顔を見るために、会場で一緒に盛り上げていただきたいと思います。今日の卓話を聞いて、その機運をグッと高めていきましょう。

なお、伊藤さんには例会後の懇親会にもご参加いただけるとのことですので、ぜひ他クラブとの交流も深めてください。そしてもう一点、大切なご案内です。PC寄贈のプロジェクトに先駆けまして、今週末2月14日には、同じく「はぐくみの杜かしわ」にて、「楽器寄贈&音楽会」が開催されます。

こちらは、柏西ロータリークラブの田村様にご協力をいただき実現するものです。音楽とIT、形は違いますが、どちらも子どもたちの感性を育む素晴らしい奉仕活動です。

今週末の音楽会につきましても、一人でも多くの会員の皆様に足を運んでいただき、子どもたちと楽しい時間を共有していただければと思います。2月は、私たち柏南ロータリークラブにとって、地域の子どもたちへ奉仕の心を届ける、非常に充実した月となります。皆様の温かいご協力を改めてお願い申し上げます、会長挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 卓話 伊藤 賢一様 (流山ロータリークラブ)

2月10日の夜間例会では、流山ロータリークラブより、ソル・セールズプロモーション株式会社 代表取締役の伊藤賢一様をお招きし、「ITで広がる未来の選択肢」と題した素晴らしい卓話をいただきました。

伊藤様は旅行業界のご出身ですが、インターネットの普及による業界構造の激変にいち早く危機感を抱き、独学でIT分野へ転身されたという行動力あふれる経歴をお持ちです。現在は地域情報誌「ぼど」の発行やWEB・デザイン制作を手掛ける傍ら、流山RC会長（2021年）をはじめ数々の地域活動の要職を歴任されています。

メインテーマは、来る2月22日に「はぐくみの杜かしわ」で実施する柏南RCとの共同プロジェクト「PC寄贈&IT体験会」についてでした。本企画の目的は、単にパソコンの操作技術や知識を教えることではなく、「ITを恐れず触れる」「世界の広さを体感する」「未来の選択肢を広げる」という、体験を通じた動機づけにあると伊藤様は熱く語ります。



当日は、Google Earthを使った疑似世界旅行、数千の機体がリアルタイムで動く航空機マップ、さらには最新のAI（ChatGPT）との音声チャットなど、子どもたちの好奇心を刺激するワクワクするプログラムが数多く用意されています。一方で、有害サイトの遮断や課金防止など、子どもを守る安全なIT環境作りについても、プロの視点から万全の対策が施されていることが解説され、大変心強く感じました。

特に胸に響いたのは、「インターネットは便利だが、フェイク情報も多い。だからこそ情報の真偽を見極める力が必要であり、我々大人が『生の声』と『目を見て伝える』経験の共有が不可欠である」というお言葉です。

このIT体験活動は、単なる機材の寄贈にとどまらず、まさに職業人の知恵と現場の経験を次世代へ還元する「職業奉仕」の理念そのものです。伊藤様の熱い思いに触れ、参加した会員一同、22日の本番を子どもたちと共に全力で盛り上げよう決意を新たにす、非常に有意義な夜間例会となりました。

## 奉仕活動報告

2月14日（土）児童養護施設「はぐくみの杜かしわ」にて、子どもたちへの楽器寄贈および音楽体験イベントを開催いたしました。当日は会員に加え、柏西RCの田村氏（G.K promotion）率いるバンドのメンバー（Vib.石橋祐二氏、Gt.石川達麻氏、Ba.佐久間尚人氏、Dr.田村郡氏）にもご協力いただき、音楽を通じた素晴らしい奉仕の一日となりました。



午前中は、子どもたちと一緒に「オリジナルシェイカー作り」を行いました。昼休憩の時間には、本番に向けたバンドの入念なリハーサルを見学しました。音響チェックから始まり、メンバー同士で意見を交わしながら、みるみる楽曲の完成度を高めていく様子はまさに圧巻。会員一同、普段は見ることのできない「プロの仕事」を目の当たりにし、午後の本番への期待が高まりました。

午後の部は、ベテラン・猫田会員の司会進行でスタートしました。続いて行われた贈呈式では、片岡会長より内村施設長へ、鉄琴（グロッケン）、ベース、ベースアンプ、そしてアコースティックギターの目録が手渡されました。内村施設長からは「頂いた楽器は、子どもたちと一緒に大切にに使わせていただきます」と、感謝と喜びのコメントをいただきました。

その後のミニコンサートでは、寄贈されたばかりの楽器も使用され、プロによる上質な生演奏が披露されました。子どもたちは、午前中に作ったシェイカーを曲に合わせて振ったり、時には真剣な眼差しで演奏に見入ったりと、全身で音楽を楽しんでいました。

